

2023年9月期 第1四半期
決算説明資料

日本エコシステム株式会社

くによく

証券コード:9249

第1四半期ハイライト



当期予想に対し、 売上高・営業利益ともに順調に推移

- ▶ M&A：公共サービス事業2件の実行（2022年11月：1件、2023年1月：1件）
- ▶ 本社入居・賃貸ビルの解体開始（予定通りに進捗）
- ▶ 固定資産：賃貸用オフィスビル売却による特別利益の計上

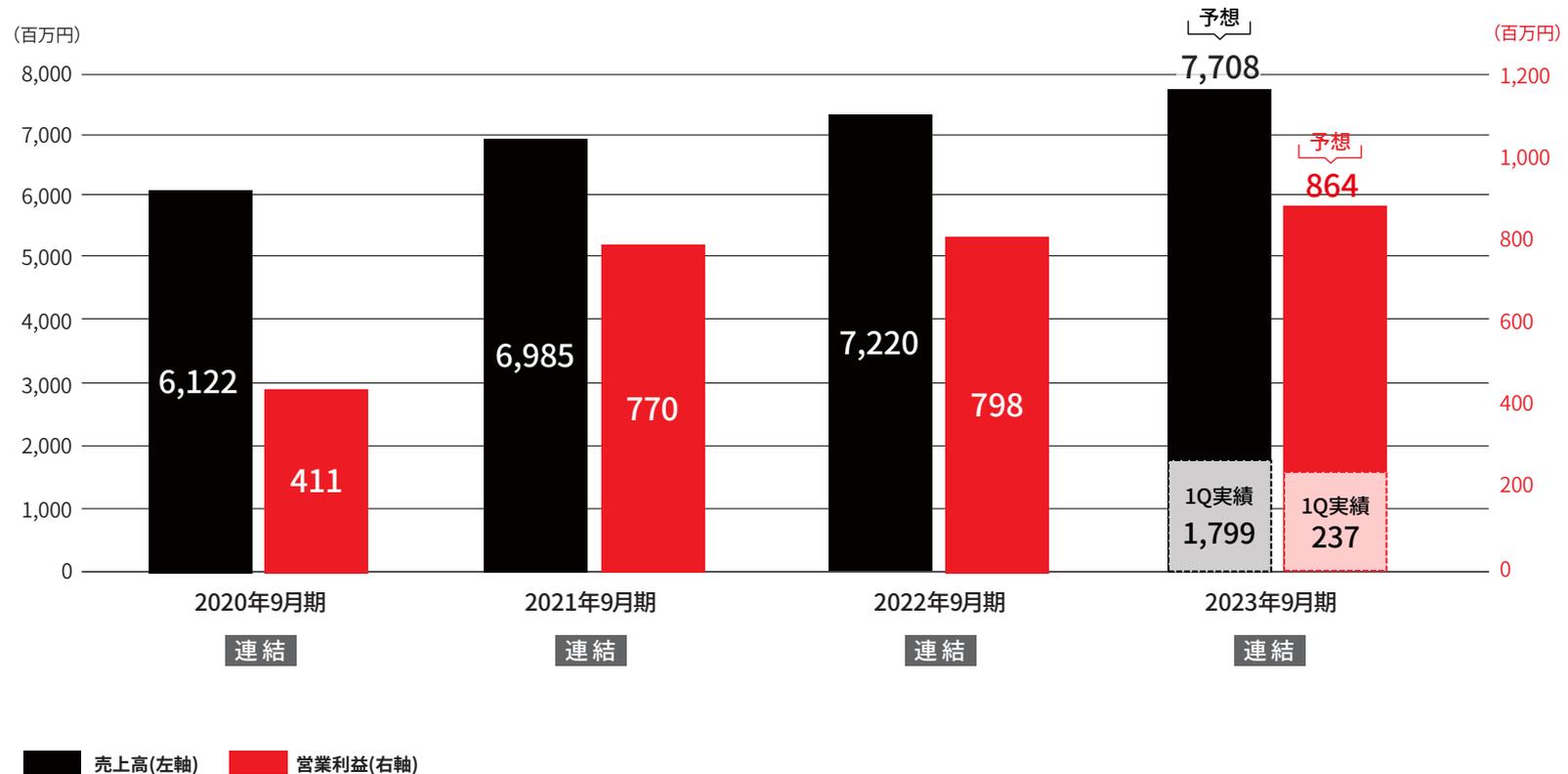
I	2023年9月期 第1四半期 決算概要	3P
II	2023年9月期(～2/10時点含む) トピックス	9P
III	サステナビリティおよびCSR	17P
IV	役員紹介	23P
V	会社概要	26P

I 2023年9月期 第1四半期 決算概要

第1四半期 売上高・営業利益の推移



当期予想に対し、売上高・営業利益ともに順調に推移



第1四半期 損益計算書サマリー



売上高・営業利益・経常利益ともに、対前年比に大きな変動なく推移
当期純利益は、対前年比で大幅に増加

(単位：百万円)

	2022年9月期 1Q 累計実績	2023年9月期 1Q 累計実績	対前年比	通期計画	進捗率対計画比
売上高	1,789	1,799	100.6%	7,708	23.3%
営業利益	228	237	103.9%	864	27.5%
経常利益	265	237	89.4%	900	26.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	150	489	325.5%	609	80.2%

当期純利益の主な増減要因

- 自社所有の賃貸用オフィスビル売却に伴う特別利益計上 428百万円
- オー・ティー・エス技術サービス子会社化に伴う特別利益計上 39百万円

第1四半期 セグメント別実績

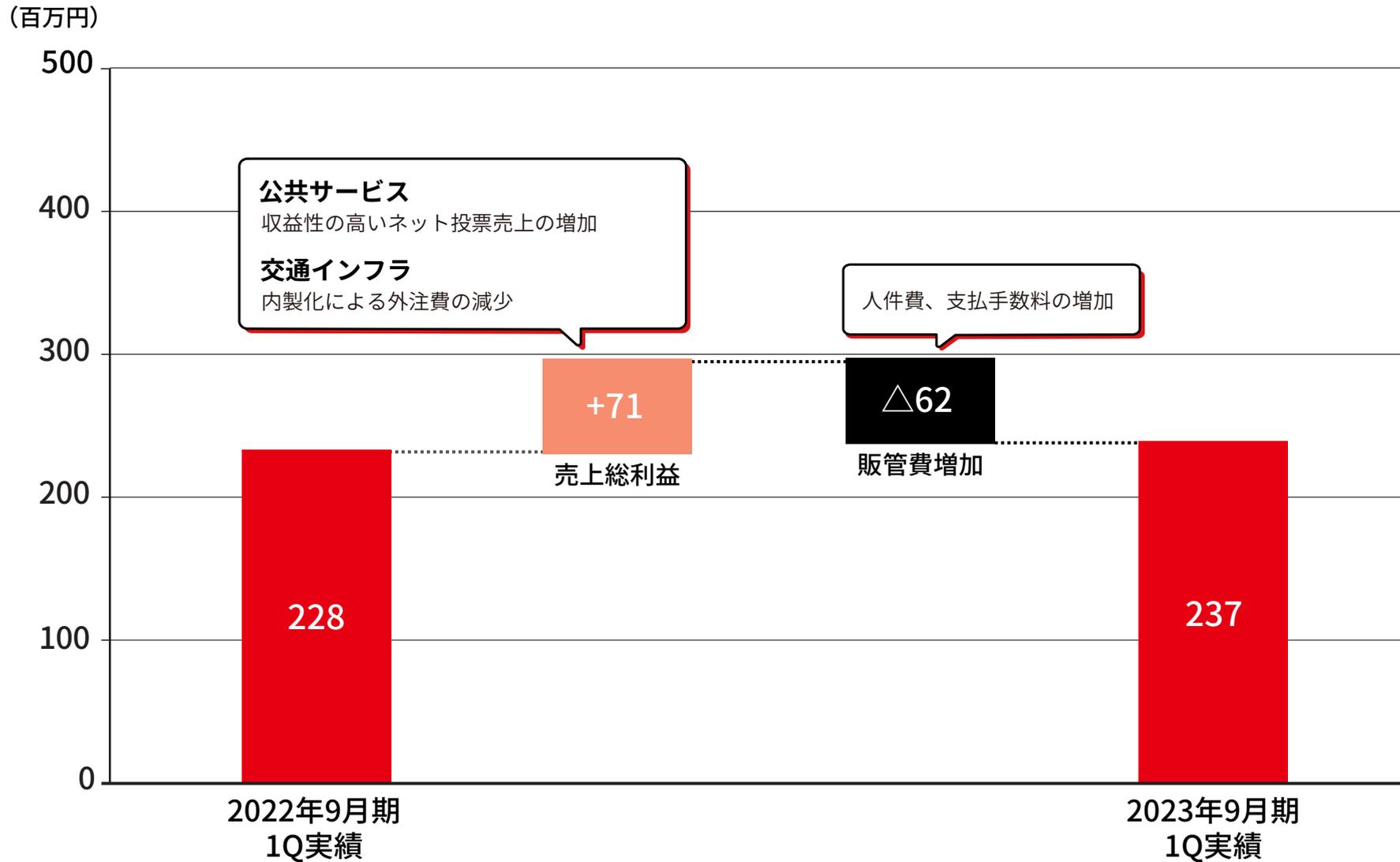


公共サービス	子会社取得、ネット投票による増収増益		前年同期比
	売上高	: 828百万円 113.0%	
	営業利益	: 157百万円 195.9%	

環境	前年は第1四半期に偏重、当期は平準の傾向		前年同期比
	売上高	: 187百万円 54.9%	
	営業利益	: 7百万円 12.8%	

交通インフラ	自治体案件の工事需要増・堅調に推移		前年同期比
	売上高	: 715百万円 110.7%	
	営業利益	: 220百万円 107.3%	

第1四半期 営業利益の増減要因分析



株主還元



配当の状況

2023年9月期は、年間配当を51円/株へ増配の予定
第2四半期 中間配当を25円/株、期末配当を26円/株とし
安定性・継続性のある配当を実施してまいります

2022年9月期

期末配当	40.00円/株
中間配当	10.00円/株 ※1

年間配当	50.00円/株
------	----------

※1 2022年9月期 第2四半期

2023年9月期(予想)

期末配当	26.00円/株
中間配当	25.00円/株 ※2

年間配当	51.00円/株
------	----------

※2 2023年9月期 第2四半期

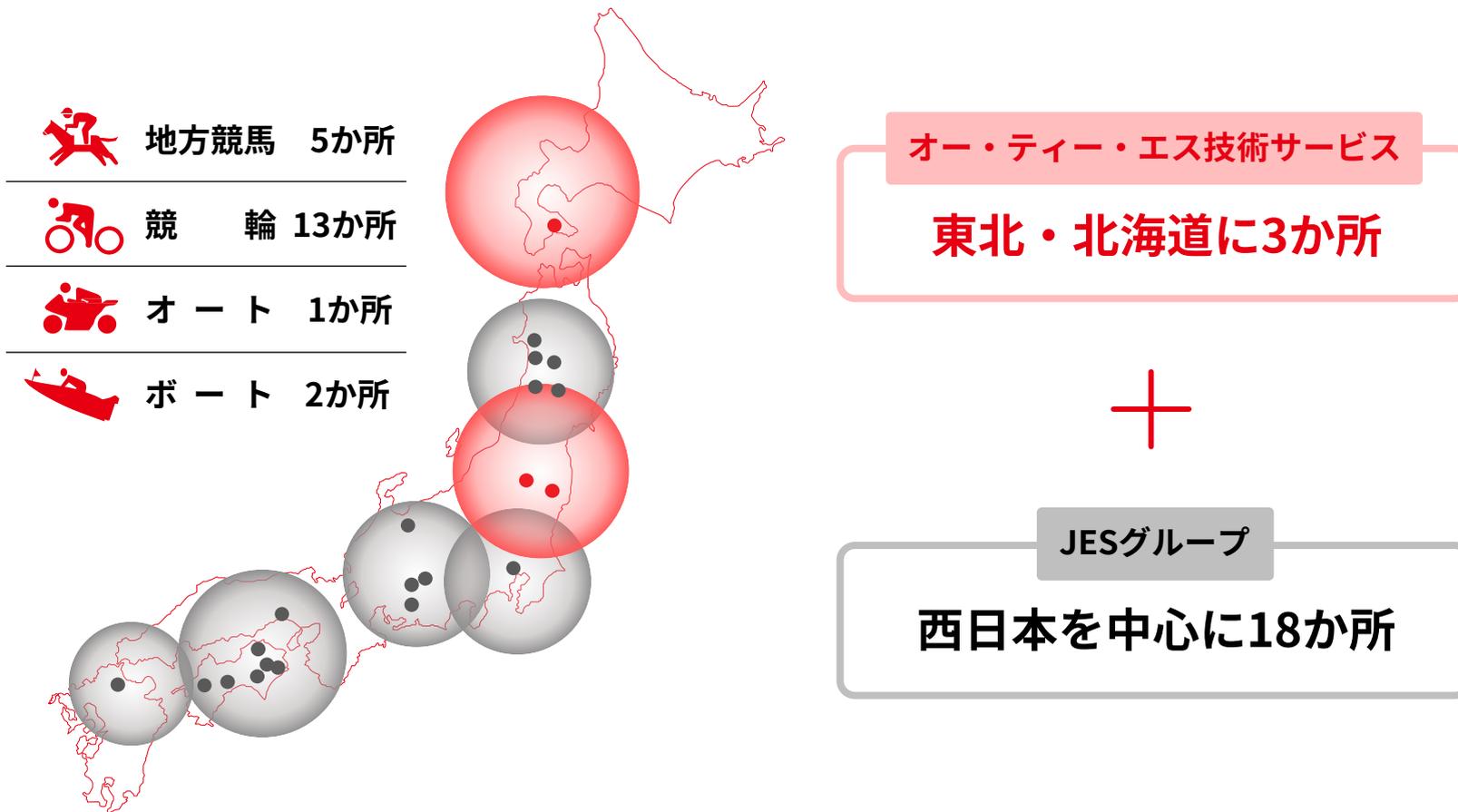
II 2023年9月期(～2023/2/10時点含む) トピックス

公共サービス事業



M&Aによる業務エリアの拡張・拡大

オー・ティー・エス技術サービス株式会社を子会社化 (2022年11月)
既存のエリアに加え、東日本エリアの業務が拡張・拡大

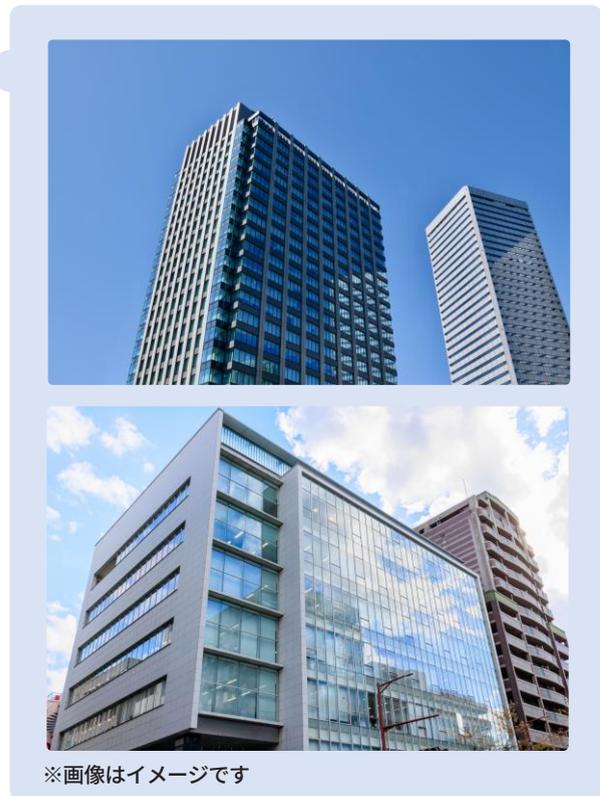


公共サービス事業



M&Aによるファシリティ領域の拡張・拡大

葵電気工業株式会社を子会社化（2023年1月）
 空調設備工事等のサービス提供範囲の拡大といったシナジー効果を創出

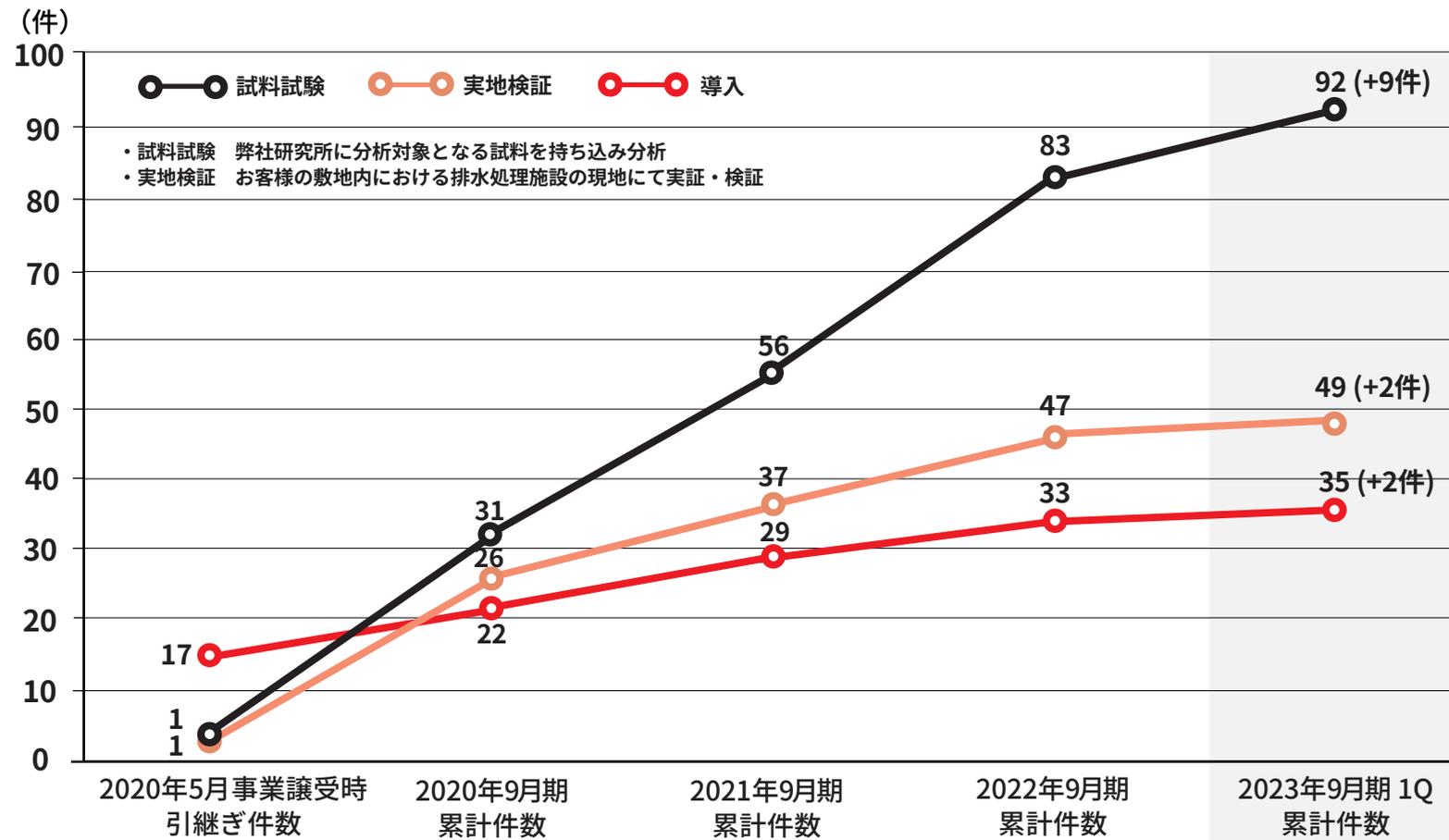


環境事業



試料試験・実地検証の件数推移

継続的な営業活動の推進により試料試験及び実地検証の件数が拡大



環境事業



「水循環システム」の施工実績

新規

南知多ビーチランド

ペンギン水槽の老朽化に伴う
ろ過率の高い装置にリニューアル工事



新規

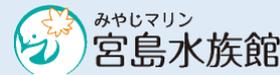
オホーツク流氷館

オホーツク流氷館の
クリオネ水槽をリニューアル工事



🐟 施工実績を全国に拡大

新たに、北海道のオホーツク流氷館、愛知県南知多ビーチランドの施工を行いました。
当社の強みである、水を綺麗にするトータルエンジニアリングを活かし、環境に配慮した施工を推進してまいります。



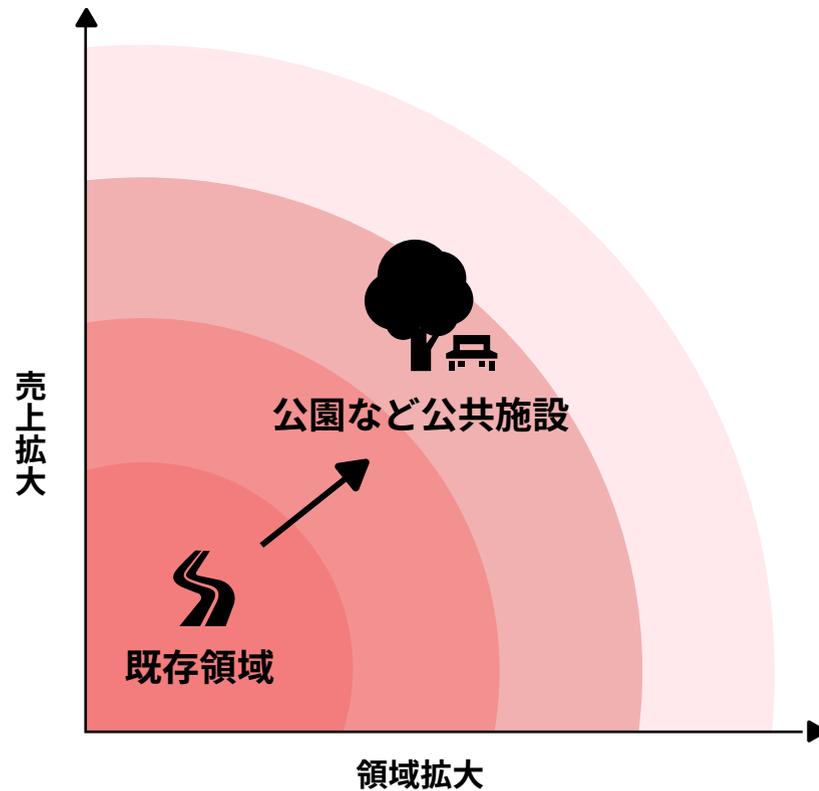
※本ページ中の各社のロゴ・マークは各社の登録商標または商標です

交通インフラ事業



LED関連工事の領域拡大

道路照明灯のLED更新工事や点検業務に加えて、公園など公共施設の照明灯にかかわる業務にも幅を拡張



工事案件

公園灯LED更新工事

道路照明灯点検業務

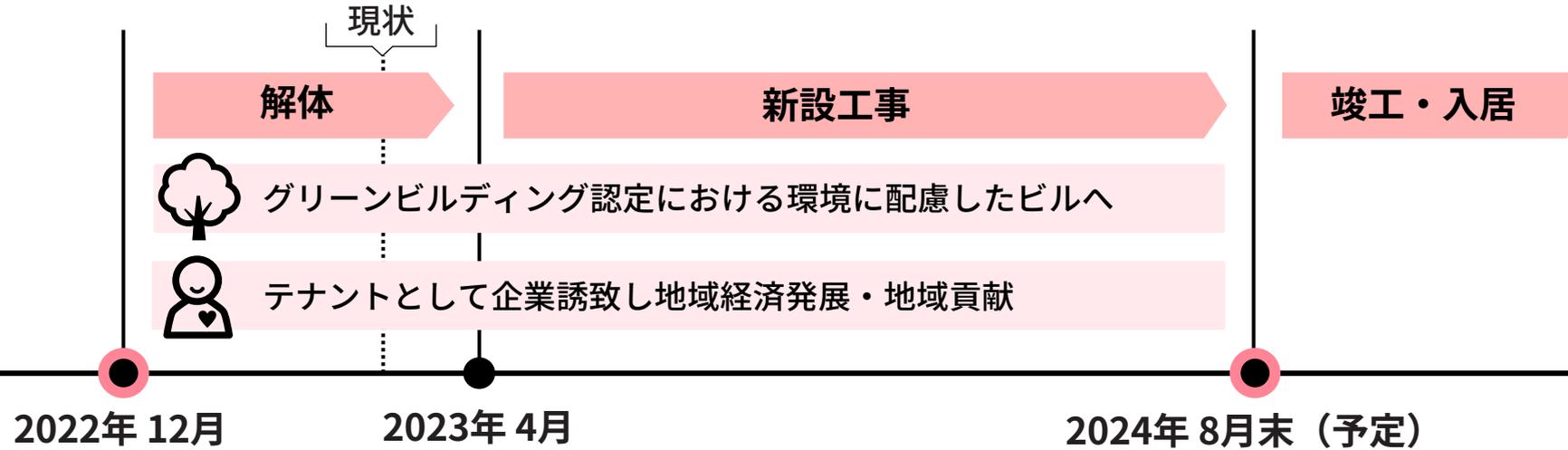
道路照明設置工事



賃貸ビル建替えの進捗状況



スケジュール



 解体前



 解体後 ※2023年1月31日時点



その他



愛知県政150周年記念感謝状贈呈団体・企業

愛知県が実施する「愛知県政150周年記念感謝状贈呈団体・企業」に選出されました

- 地方自治(9団体)
多年、地方自治の伸展に貢献した団体

- 社会活動(56団体)
多年、社会活動の活性化に貢献した団体

- 環境(9団体)
多年、環境行政の推進に貢献した団体

- 社会福祉(31団体)
多年、社会福祉の向上に貢献した団体

- 保健医療(148団体)
多年、保健医療の向上に貢献した団体

- **産業(983団体・企業)**
多年、本県産業の発展に貢献した団体・企業

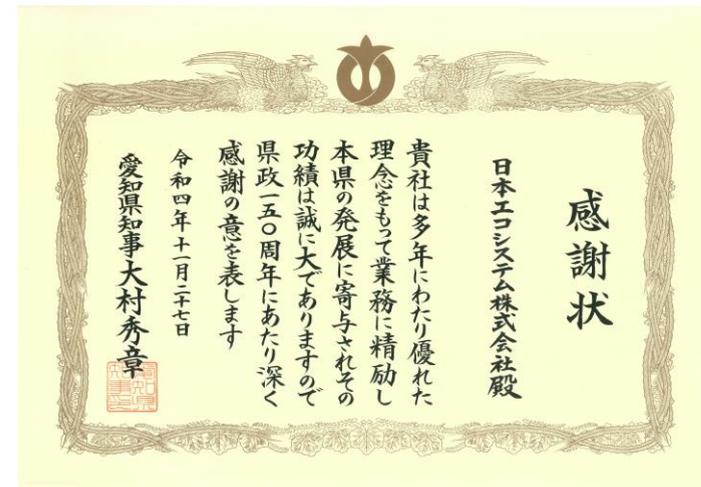
- 教育文化(141団体)
多年、教育文化の振興に貢献した団体

- 公共安全(363団体)
多年、公共安全の確保に貢献した団体

計 1,740 団体・企業

表彰状の贈呈

多年、本県産業の発展に貢献した団体として愛知県から表彰状をいただきました。これからも愛知県一宮市の企業として社会貢献を鋭意推進して参る所存です。



III サステナビリティおよびCSR

サステナビリティおよびCSR①



当社は、SDGsへの取り組みを強化し、
地域の皆様とともに持続可能な社会の実現に向けた活動を推進いたします

重要課題	関連SDGs	当社の取り組み
地球環境に配慮した排水浄化処理の普及	    	<ul style="list-style-type: none"> ■ 排水を無害化できる製品の開発・製造 ■ 排水浄化処理および水循環利用の導入促進
交通インフラ長寿命化への貢献	   	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経年劣化した高速道路・トンネル等の補修事業の拡大
再生エネの利用促進	   	<ul style="list-style-type: none"> ■ 太陽光発電設備の設置・施工 ■ 再生エネルギーの導入促進



ポジティブ・インパクト・
ファイナンス
第1号案件の契約締結

当社の企業活動におけるインパクトを
包括的に分析・評価し、名古屋銀行による
ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行

※本ページ中の各社のロゴ・マークは各社の登録商標または商標です

サステナビリティおよびCSR②



当社は、グリーンボンド・ソーシャルボンドへの投資を継続的に実施し、今後も社会的課題の解決、持続可能な開発目標の達成に貢献いたします



ソーシャルボンド 1件目

社会基盤である高速道路の整備と長期保全のため、西日本高速道路株式会社が発行するソーシャルボンドへの投資を実行



ソーシャルボンド 2件目

教育の機会均等に寄与するために、独立行政法人日本学生支援機構が発行するソーシャルボンドへの投資を実行



グリーンボンド 1件目

信号機のLED化、公用車の電動化、監視施設の測定機器の設置・更新等の財源として愛知県が発行するグリーンボンドへの投資を実行

※本ページ中の各社のロゴ・マークは各社の登録商標または商標です

スポーツ振興



ソフトボール

当社は、公益財団法人日本ソフトボール協会に属し、生涯スポーツを支援し健康促進・維持を目指し、地域社会のスポーツ振興並びに発展に貢献しています

羽島市役所への表敬訪問



2022年8月、岐阜県羽島市役所に表敬訪問し、羽島市長より、「強化指定団体として、トップアスリートを輩出していただいております、ありがたい。引き続き羽島市及び岐阜県を代表するチームとして頑張ってください。」とのお言葉をいただきました。

これまでの実績

2011年 東日本リーグ準優勝

2014年 全日本クラブ選手権初優勝



スポーツ振興



いちのみやタワーパークマラソン

メインスポンサーとして、いちのみやタワーパークマラソンへ協賛し、年代問わずスポーツを通じた交流の場として盛況を博しています

いちのみやタワーパークマラソン



一宮市では、「スポーツで紡ぐ笑顔と健康」を基本理念として、誰もが自身の体力や年齢、そして目的に応じて、様々な形でスポーツに係ることで、生きがいのある生活を確保するとともに明るく豊かで活力に満ちた社会を形成していくことを目指しています。

2023年度 参加人数

10km	マラソン	458名
5km	マラソン	279名
3km	マラソン	152名
2km	ジョギング	533名
合計		1,422名



スポーツ振興



一宮中日スケートクラブ

愛知県一宮市にあるショートトラック・スピードスケートクラブに支援を行い、日本エコシステム一宮中日SCとして活動を開始いたします



Japan Eco System ICSC

一宮中日スケートクラブは、
愛知県一宮市にあるショートトラック・スピード
スケートクラブです。
世界大会・全国大会で活躍するトップス
ケーターも輩出しています。



IV 役員紹介

トップメッセージ



社会・環境と共に発展できる 「エコシステム」の実現へ

社会への貢献を第一と考え、
多様化する社会のニーズに応え続けるために、
より一層の企業価値向上に努め、
社会に必要とされ続ける
「300年企業」の創造を目指してまいります。

代表取締役社長

本島 稔

役員紹介



松島 穰
代表取締役社長



中村 成一
専務取締役
環境グループ担当



奥村 泰典
常務取締役
生活産業グループ担当



内田 敦
取締役
交通インフラグループ担当



稲生 篤彦
取締役 管理本部担当



杉戸 俊之
取締役



田野 好彦
取締役



伊東 史子
取締役



亀山 直人
取締役(常勤監査等委員)



加納 正二
取締役(監査等委員)



南 善隆
取締役(監査等委員)

※取締役杉戸俊之・取締役田野好彦及び取締役伊東史子は、社外取締役であります。監査等委員である取締役加納正二及び南善隆は、社外取締役であります。

V 会社概要

会社概要



会社名	日本エコシステム株式会社	資本金	761,166,638円
設立	1998年11月	決算期	9月
会社所在地	愛知県一宮市本町二丁目2番11号 JES一宮ビル	発行済株式数	2,675,500株
代表者	代表取締役社長 松島 穰	従業員数	452名(平均臨時雇用人員含む) ※22/12/31時点
事業内容	公共サービス事業	監査法人	EY新日本有限責任監査法人
	環境事業	上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 名古屋証券取引所 メイン市場
	交通インフラ事業		



社是・経営理念



〔社是〕

未^み晃^{こう}道^{どう}

未来の地球を照らし、
輝き続ける事業を創造します。

〔経営理念〕

事業を通じ、
物心両面の幸福を追求すると同時に、
かけがえのない地球環境の
維持にも貢献します。

事業概要



事業区分及び主な事業の内容

当社グループは**計10社**で構成されており、社会インフラサービス企業として公共サービス事業、環境事業、交通インフラ事業に取り組んでいます

区分	主な事業の内容	主な関係会社
公共サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> 公営競技場における、トータリゼータシステムの設計・製造・販売・機器設置及び一般事業者も含めた空調衛生設備等のファシリティに関わる事業 公営競技場における、トータリゼータシステムのメンテナンスに関わる事業、AIによる競輪予想サービス・警備・清掃等の運營業務に関わる事業 	当社 日本ベンダーネット(株) サテライト一宮(株) 中央警備保障(株) オー・ティー・エス 技術サービス(株) 葵電気工業(株)
環境事業	<ul style="list-style-type: none"> 排水浄化効率を促進させる製剤の研究開発、製造及び販売業務に関わる事業 水循環システム及び処理設備の設計・施工・メンテナンスに関わる事業 産業用太陽光の再生可能エネルギー発電設備の設計、施工、保守等業務に関わる事業 	当社 JESテイコク(株)
交通インフラ事業	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路を中心とした構造物点検、電気通信設備・ETC保守、交通管制業務、道路照明灯保守等の道路エンジニアリングに関わる事業 高速道路を中心とした維持修繕工事、事故・災害復旧工事、雪氷対策作業、土木工事、交通規制等の道路メンテナンスに関わる事業 	当社 (株)ワンズライフ (有)ぼくちオジカオート (株)日新ブリッジ エンジニアリング
その他	<ul style="list-style-type: none"> システム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業 不動産の仲介、売買、賃貸等不動産に関わる事業 	当社

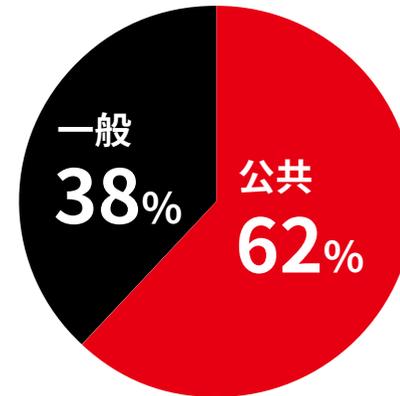
事業概要



当社事業の特徴

BtoP (Public)
を中心とした
安定性の高い領域で
事業展開

2022年9月
 売上構成比



当社グループは参入障壁の高い3セグメントより構成

公共サービス事業

自治体が主催する公営競技における運営サービスを展開。川上のシステム設計から川下の施設運営までを一気通貫で提供する事により差別化。

環境事業

再生可能エネルギー事業に加え、排水処理事業・水循環事業を開始。長期成長分野の事業として育成中。

交通インフラ事業

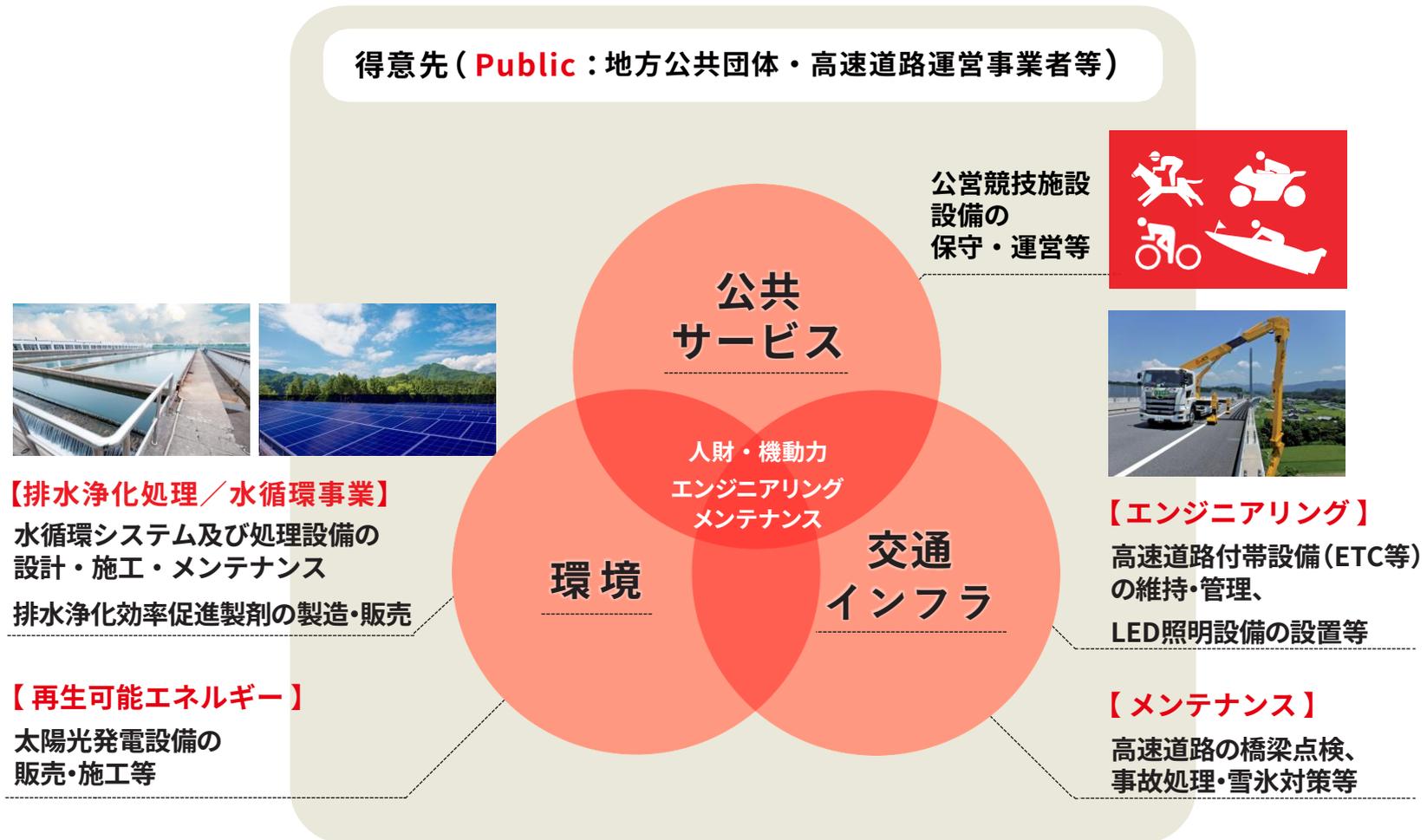
主に自治体・中部エリア高速道路会社からの委託を受けて構造物点検や電気通信設備・ETC等の保守サービスを展開。高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現。

事業概要



当社グループとセグメント

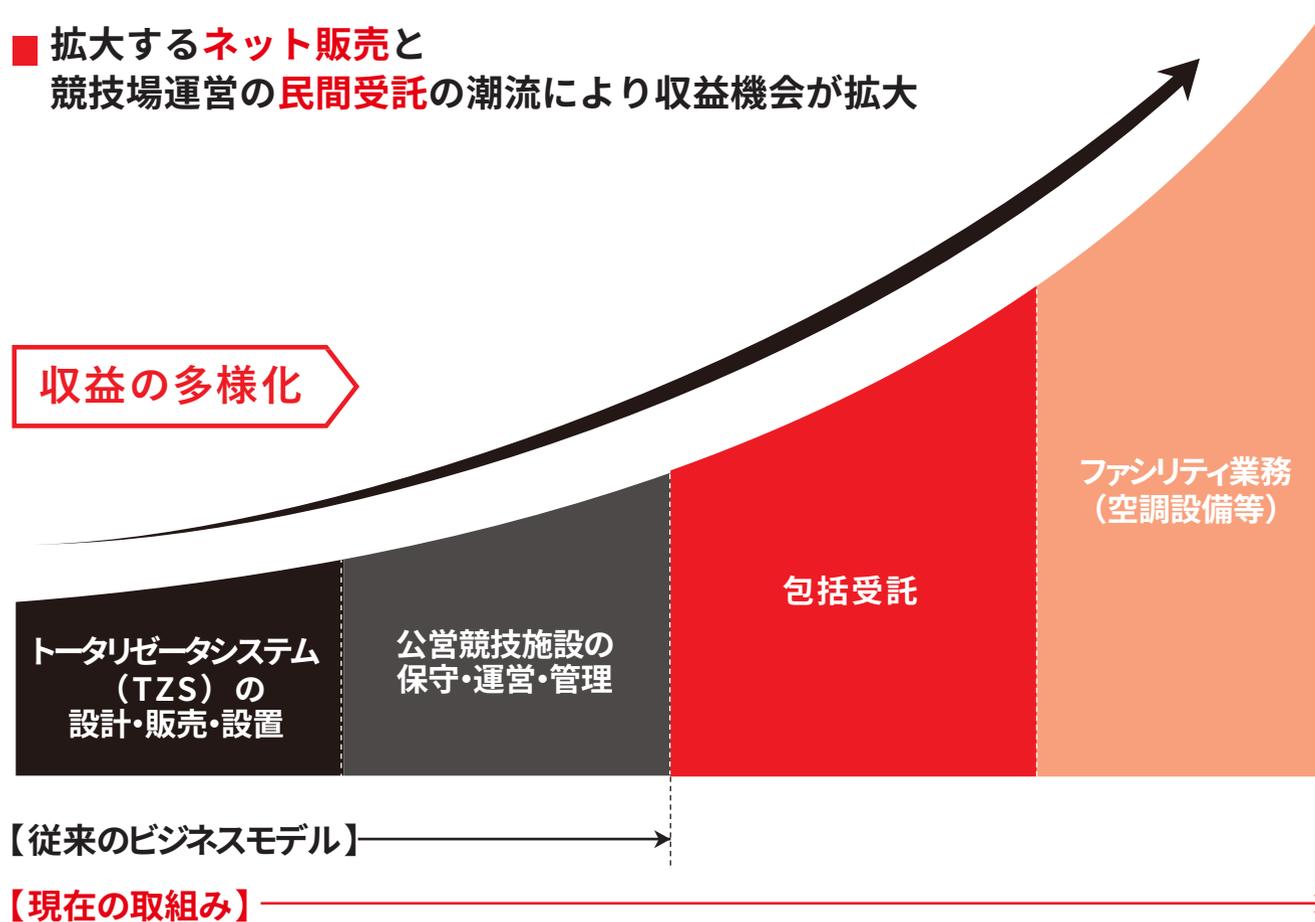
エンジニアリング・メンテナンスを強みに公共施設・環境関連向け「社会インフラサービス企業」として事業展開



公共サービス事業

ビジネスモデル

- 公営競技運営業務を**一気通貫**で提供する事により差別化
- 拡大する**ネット販売**と
競技場運営の**民間受託**の潮流により収益機会が拡大



1 運営事業者が個別に発注していた業務を包括的に受託
業務効率化等により
収益率が向上

2 AI予想、ネット販売サイトの運営



3 場外車券場を運営



4 空調設備等の
ファシリティ業務

環境事業



ビジネスモデル

- 2020年より排水浄化処理事業を開始、長期成長分野の事業として育成中
- 産業用太陽光発電設備の施工及び売電が現在の主力事業



交通インフラ事業



ビジネスモデル

- 高速道路上のエンジニアリング & メンテナンスに特化
- 高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現



- 高速道路上のエンジニアリング & メンテナンスに特化し、高度な安全技術で付加価値の高い収益性を実現

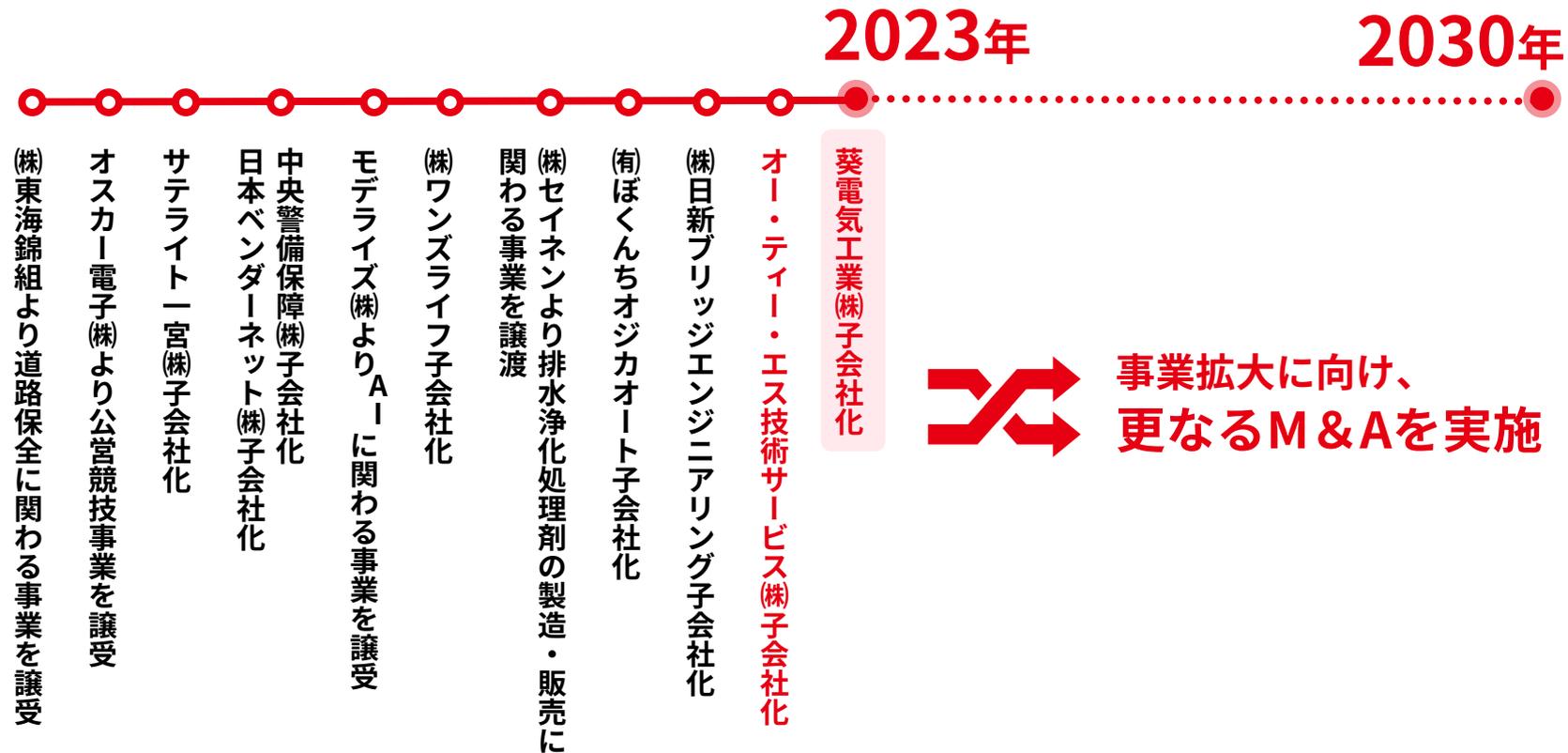


- 図面作成から点検保守、施工管理まで多種多様な交通インフラ業務を一貫してサポート

M&Aの積極的な推進



各事業セグメントとのシナジー創出を実現する案件情報を継続的に収集し
事業成長に向け「これまでも・これからも」M&Aを積極的に推進いたします



本資料における注意事項



本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

本資料及び当社IRに関するお問合せ先

管理本部IR担当

 0586-64-9249

 ir.jesg@jp-eco.co.jp

